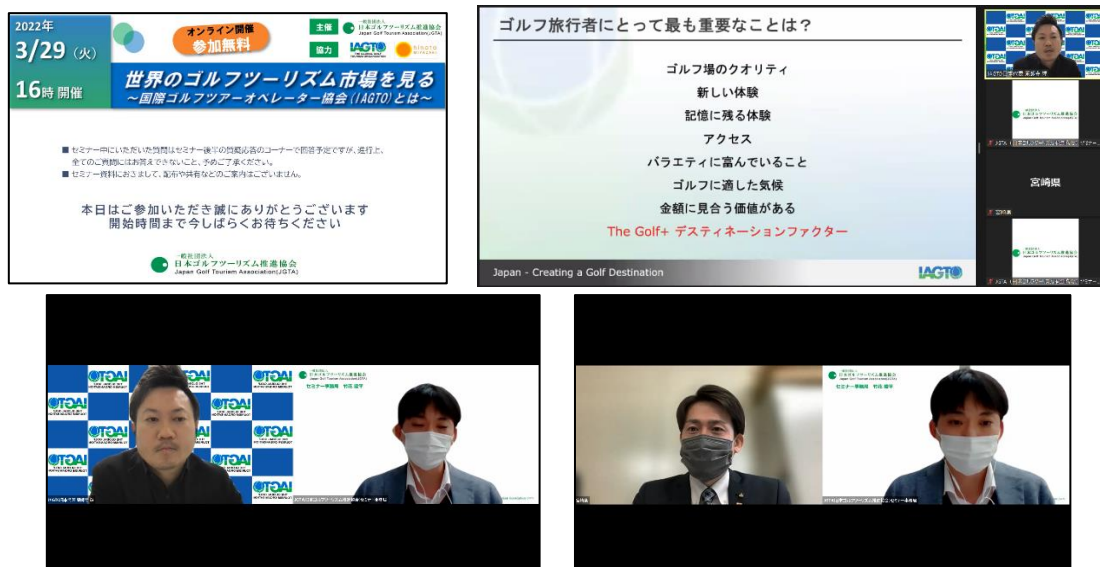


【JGTA ゴルフツーリズムセミナーレポート】

世界のゴルフツーリズム市場を見る～国際ゴルフツアーオペレーター協会(IAGTO)とは～

【プログラム】

- (1) 主催者挨拶 (一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会<JGTA>事務局)
- (2) メインテーマ「IAGTO のゴルフツーリズムへの取り組み」
講師：IAGTO 日本代表 薬師寺 輝 氏
(一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会 評議員)
- ※ 司会進行：一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会 (JGTA) 事務局 竹花
- (3) 質疑応答
- (4) 宮崎県観光推進課 AGTC 開催に向けたご報告
- (5) JGTA 事務局からのご案内



【セミナーのポイント要約】

(薬師寺氏より)

<IAGTO の紹介> ※IAGTO HP (<https://www.iagto.com/>)

- ・IAGTO のメンバーは現在 89 か国で約 2,300 団体が加入している (令和 4 年 3 月現在)。
- ・うち、ゴルフ関連施設は約 800、ホテル約 700、ゴルフツアーオペレーターが約 600、ゴルフリゾートが約 400 と続く。
- ・IAGTO は世界 90% のゴルフツアーパッケージに関わっており、2018 年には 240 万人のゴルフパッケージを販売。32 億 US ドル (約 3,500 億円) の市場規模であった。
- ・なお、54 カ国 464 (約 2/3) の IAGTO ゴルフツアーオペレーターがアジアへのゴルフツアーを販売している。

<IAGTO の活動>

- ・デスティネーションの審査、プロモーション戦略立案、開発プランの提案等を行う。
- ・これまで、20 か国以上のゴルフツーリズム戦略策定を支援してきた。
- ・また、IGTWA (International Golf Travel Writers Association) というメディア組織も運営している。<http://www.igtwa.org/Igtwa/Default.aspx>
- ・AGTC (アジアゴルフツーリズムコンベンション) の主催であるが、コロナ禍により 2020 年より 3 年連続開催が中止となっている。
- ・JGTC (アジアゴルフツーリズムコンベンション) (2018 年、三重県開催) も主催した。
※参考：JGTC 2018 Convention Highlights
<https://www.youtube.com/watch?v=A9z0vL5M3FE>

<IAGTO Connect の開催報告>

- ・IAGTO が主催するオンライン商談イベント IAGTO Connect を開催した。

※参考：<https://www.iagto.com/onlineevent/iagtoconnect>

- ・103 のバイヤー、146 のセラーが参加。日本からは 5 団体が参加した。
- ・2,700 の事前アポイントメント、ノーショウ、キャンセルは 4%、セラーの平均アポイント数: 18、バイヤーの平均アポイント数: 25 であった。

<IAGTO メンバーのメリット>

- ・加盟約 2,300 社の情報を含むディレクトリーを更新しているため、例えばゴルフ場担当者の連絡先が入手可能となっている。
- ・IAGTO ウェブページ上に、メンバー専用のアカウント、ページを用意しているため、訪日ゴルフ旅行の問い合わせ先としてメンバーへ連絡したり、情報の乏しい国へのゴルフ旅行情報をリサーチしたり、メンバーの料金表を掲載 (インバウンド) することが可能。
- ・IAGTO の有するフォトライブラリーは 3 万を超え、ビデオは 1,200 以上。

<ゴルフ旅行について>

- ・IAGTO では、ゴルフ旅行を「Business& Golf」「Vacation Golf」「Golf Vacations (=旅行の主目的がゴルフであるもの)」の 3 タイプに定義している。
- ・ゴルフ旅行のマーケットは全世界で約 5,600 万人に上る。
- ・うち、3 割は 1 年以内にゴルフ旅行に出かけると回答している (IAGTO アンケートより)。
- ・また、半数のゴルファーは旅行中にゴルフをプレーすると回答している (同上)。

<ゴルフ旅行の重要性>

- ・ゴルフ旅行者は一般的な旅行者の 2.2 倍旅行中に消費すると言われている。
- ・タイをはじめ、ゴルフツーリズムを推進する国の中には、総観光収入の 1% 以上を超える国もある。
- ・ゴルファーは経済的な影響を受けにくいマーケットと言われている (その裏付けとして、2008 年のリーマン・ショックの例を紹介)。
- ・ゴルファーは大きな影響力を持つ市場。例えば米国人口の 12% 程度とも言われている。

<ゴルフ旅行者のニーズについて>

- ・ゴルフ旅行者にとって重要なことは、様々あるが、中でも最も重要なものはゴルフ+デスティネーションファクターと呼ばれるものである。
- ・例として、Golf+「文化と歴史」「食」「自然」などがあるが、最も重要なものは、ゴルフ旅行者にとって良い体験を提供することにある。

<成功しているデスティネーションの例>

- ・タイのゴルフツーリズムは、バラエティに富んでいることが大きな魅力のひとつ。
- ・様々なクライアントのニーズに応えるデスティネーションが存在している（考え方としては、Golf+ α の要素と、Golf for XXX<何のため、誰のため>の要素）。

<日本をゴルフデスティネーションにするために必要なこと>

- ・地域別のプランニング、ゴルフツーリズムに適したゴルフコースを有しているか、ツーリストフレンドリーなコースへのアクセスが適切なものかどうか。
- ・IAGTO 調べによると、ゴルフ旅行者の75%は、3箇所以上のゴルフ場があれば、ゴルフデスティネーションと認識するというアンケート結果が出ている。

<質疑応答 ※一部抜粋>

Q：アジアの中で日本へのゴルフ旅行者が多い国はどこか。

A：アジアの中で日本へのゴルフ旅行者が多いのは、韓国。但し、目的が他のマーケットと異なるケースも多い（料金やゴルフ環境優先など）。近年ではタイ、マレーシア、インドネシアなどの東南アジアからの需要も高まっている。

Q：インバウンド客を受け入れるためにゴルフ場が準備すべきことは何か。

A：まずはコースのスタッフの間で「インバウンドを歓迎する」というコンセンサスを取るべきだと考える。歓迎されていれば、言語の不自由があっても良いホスピタリティが提供できるが、面倒に感じ、迷惑だと思っているスタッフがいれば問題になってくる。運用の中で必要と思ったものは、その都度対応していけば良いと思われる。チェックインからチェックアウトまでの簡単な流れを説明する案内書面や（初めてゴルフ場にきた初心者に説明するようなもの）、多言語または写真付きメニューなどが次に挙がる。

Q：日本のゴルフ場でどこのエリアが一番人気なのか。

A：市場によって変わるが、北海道、九州(福岡など)、関西(兵庫)などが選ばれるケースが増えていると感じている。

Q：海外でゴルフをする場合、自分の道具はもっていくものか、それとも否か。

A：ゴルフを主目的とする場合、ほとんどの方が自分の道具を持って来る。

(宮崎県より)

- ・宮崎県は、アジアゴルフツーリズムコンベンション AGTC の宮崎開催に向けて、2019 年より誘致活動を始め、様々な関係機関のご協力のもと、AGTC 開催地として決定をいただいた。

- ・残念ながら、その後のコロナの発生、長引く影響により、2度の延期・中止となったが、そのようなAGTCの開催に向けた取組を評価いただき、先日のIAGTO Connectにプレゼンティングスポンサーとして参加させていただいた。
- ・IAGTO Connectでは、ポストコロナにおける海外からの誘客に向けて、宮崎県のゴルフ環境や、観光、食の魅力などを動画でお伝えさせていただいた。
- ・IAGTO Connectで放映されたIAGTOのピーター会長による、知事へのインタビュー動画では、来年予定されているAGTC2023に関し、ピーター会長より、再び宮崎県での開催を期待する旨のご発言があり、宮崎県としても、開催できるよう改めて準備を進めたい旨、河野知事よりお伝えしたところ。
- ・AGTC2023開催に向けては、これから県内関係者やJGTAなどで構成する実行委員会や、主催者であるIAGTOと協議を重ね、開催に向けた手続や準備を進めて参りたいと考えている。
- ・AGTCが開催できることになったら、是非とも皆様のご参加をお待ちしている。

※本セミナーに関する資料共有および動画配信の予定はございません。セミナー内容の詳細に関しましては、以下よりお問い合わせください。

※本レポートを無断で使用、転載することを固く禁じます。本レポートならびにJGTA協会概要等については、JGTA事務局までお問い合わせください。

【本セミナーに関する問い合わせ先】

IAGTO 日本代表 薬師寺 輝 氏

(連絡先) japan@iagto.com

宮崎県観光推進課 平嶋 正悟 様

(連絡先) hirashima-shogo@pref.miyazaki.lg.jp

日本ゴルフツーリズム推進協会 (JGTA) (本セミナー主催) 事務局 竹花

(連絡先) takehana@jpgta.jp
